

# あそびのししぴ

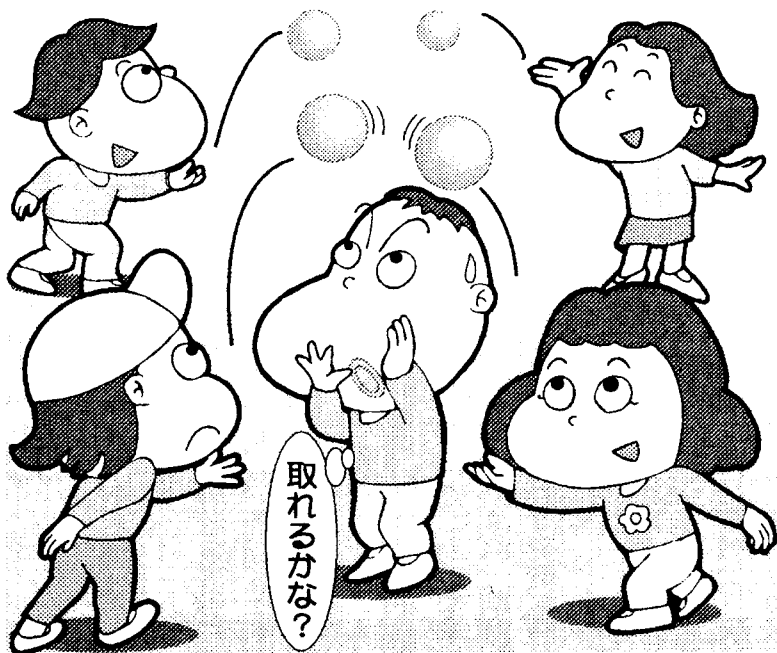
## 欲しいものを語り合う

### 夢つかみ

日本が人口減少時代に入っ  
て最初の新年を迎えました。  
これからの時代は、競争社会  
での「一番」ではなく、「白  
を競い合うものが多くありま  
分に合う」ことを選ぶ、「量」  
す。「一番早い人」「最もた  
みませんか。

より「質」を求める時代かも  
しれません。  
遊びには、早さや量の多さ  
めとしていろいろな夢を語って  
みませんか。

くさん量を集めた人」が勝ち、  
という単純な目安が、これま  
でのゲームのあり方ですよ  
ね。今回は、「質」を求める  
遊びの紹介です。本当に欲し  
いものは何か、新年の遊び初



【人数】10-15人

【場所】天井の高い場所

【道具】お手玉、軟らかいボール、人形など人数分

【遊び方】

①参加者は輪になり、その真ん中に「夢をかなえたい人」1人が立つ。

②輪になっている人たちは、それぞれに夢の詰まった軟らかいボールなどを1個持つ。

③中央の人の合図で、輪になっている人は一斉に（高く弧を描くように）中央の人に向かってそれぞれの夢の詰まったボールを投げ上げる。

④中央の人は、何個の夢を受け取ることができるか。たくさんの夢を受け取るために、中央の人は投げ方についてのいろんな注文ができる。投げる人も、受け取りやすいように投げよう。

⑤中央の人は、みんなが投げる前に、何個の夢を捕まえたいか、発表しておく。3回続けたら周囲の人と交代しよう。

⑥みんなが「夢をかなえたい人」を体験したら、うまくいった方法やその結果とともに、それぞれの夢とその実現の方法などを語り合おう。

九州あそびの研究所・中島宏所長  
問い合わせは092(882)0363